

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 747 号 令和5年8月

目次

○日本獣医師会第80回通常総会に出席して（副会長理事）	1
○第59回(2023年度)山口県獣医学会のご案内	1
○日獣理事退任に当たって（会長理事）	3
○産業動物部会・獣医公衆衛生部会合同委員会開催報告（常務理事）	4
○第1回小動物部会委員会開催のご報告（小動物部会長 岩柳支部 大黒屋 勉先生）	4
○役員挨拶	
・岩柳支部 後藤孝一理事	5
・美祢支部 松延佐知子理事	5
・山口支部 白銀政利監事	5
・山口支部 水原孝之監事	6
・山口支部 柳澤郁成監事	6
○リレー随筆（県庁支部 鳴重寿人先生）	7
○今年度からのチャレンジについて（豊浦支部 前田翔一先生）	7
○事務局だより	8
○クレーム対応サービスをご活用ください（リーフレット）	9

日本獣医師会第80回通常総会に出席して

副会長理事 白 永 伸 行

さる6月27日、日本獣医師会通常総会が東京都明治記念館「蓬莱の間」で行われました。通常、総会出席者は議決権行使者であります。田中会長は日獣理事のため、副会長の私が代理出席いたしました。

総会は駒田事務局長による開会宣言につづき、日本獣医師会・獣医師倫理要綱（獣医師の誓い：95年

宣言）を斉唱。出席参加者は50地方会、書面決議2の合計52のため総会は成立。続いて日本獣医師会蔵内勇夫会長から会長挨拶があり、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたため通常総会は対面開催となり、多くの来賓に出席いただいたことに謝意を述べられた。会長は就任して5期が終了するにあ

お知らせ

第59回(2023年度)山口県獣医学会のご案内

下記のとおり開催します。皆様の参加をお待ちしています。

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1 会場 防長苑（山口市熊野町） | 3 参加費 |
| 2 開催日 令和5年8月27日(日) | 本会会員・学生：無料 |
| 9：30～ 開会・挨拶 | 愛玩動物看護師・病院スタッフ：千円 |
| 9：40～12：00 発表(産業動物・獣医公衆衛生) | 上記以外の者：3千円 |
| 12：00～12：30 学会運営委員会(産・公) | 4 その他 |
| 13：00～16：30 発表(小動物) | (1) 防長苑の駐車場を利用してください |
| 16：30～17：00 学会運営委員会(小) | (2) 昼食の斡旋は行いません。 |
| | (当日は防長苑の食堂は休業) |

たり特にワンヘルスへの取り組みが前進したことへ多大の支援の感謝を述べ、FAVA会長に就任し、昨年の福岡大会には19カ国2,500人を超える参加者があり、世界に向けてワンヘルスを発信できたと考えて自民党にもワンヘルス議員連盟が結成され、先般のG7広島サミット並びにG7長崎保健大臣関係閣僚会合における宣言中にワンヘルスが大きく取り上げられたことに言及された。またFAVAワンヘルス福岡オフィスを実践拠点として普及や課題への先進的な取り組みに対する意気込みを述べられた。また販売用犬猫へのマイクロチップ（MC）装着登録への民間登録制度に改正を働く意向や獣医師国家試験と愛玩動物看護師の国家試験合格率とチーム獣医療推進への取り組みに触れた。そして獣医師の処遇改善や海外への研修生受け入れ事業へも引き続き寄与する意欲を示しました。

来賓挨拶は林芳正外務大臣がまず初めに自民党ワンヘルス推進議員連盟会長から賜り、特にコロナ禍の前からワンヘルスを指摘言及されていた日本獣医師会並びに蔵内会長への先見の明とこの3年間に政策施策に有効利用できなかったことがあり、改めてワンヘルス並びに獣医療獣医学への大切さを痛感したと仰った。また森英介自民党獣医師・動物看護師問題議員懇話会会長、続いて関係省庁の局長、審議官、畜産会会長にも祝辞を賜りいただいた。

引き続き獣医師会職員永年勤続表彰、議長副議長選出ののち議事を進行した。議事は以下のとおりである。

第1号議案：令和4年度事業報告の件（報告事項）

第2号議案：令和4年度決算の件（承認事項）

第3号議案：令和5年度事業計画の件（報告事項）

第4号議案：予算の件（報告事項）

第5号議案：会費及び賛助会費の件（承認事項）

第6号議案：役員選出の件（承認事項）

第1号議案では各種総会、理事会、会議の開催状況や会員の移動状況などが報告され、特に会員は前年度比428人の減少であった。

第2号議案では経常収益1,179,155,801円、計上費

用計1,279,819,821円と当期経常増減額

100,664,020円であった。公益目的事業計上費用計は117,094,659円であり、公益目的事業比率はおよそ91.5%、収支相償はマイナスであった。続いて監査報告があり、賛成多数で承認された。

第3号議案は勤務獣医師の処遇改善と女性獣医師の活躍推進に関する対応をそれぞれ項目を分け、個別に取り組んでほしいとの要望があった。そのほかにMC、ワンヘルス、遠隔診療に関する質疑があった。最後に日獣本会からはワンヘルス推進を地方会に要請があった。

第4号議案は特に質疑がなく、**第5号議案**では均等割会費1会員（1地方獣医師会）あたり190,000円、会員構成獣医師数×6,000円として承認された（山口県獣医師会は2,314,000円の会費を計上）。

第6号議案は役員承認の件であり、理事21名、監事3名について一人ずつ賛否が問われ、全員承認で一致した。こののち総会は一旦閉会され、別室で第3回理事会が行われ、新役員について報告があるまで待機ののち総会会場で「役員等選定結果報告書」が公表配布され、解散となった。

出席感想としてはMC事業を環境大臣の登録から民間の指定登録に変更を次の法改正で求めていくとしているが、事業に関する今後の運営、特に手数料の見直しと予算面への懸念が安心できるに達しなかった。

また認定・専門獣医師協議会が設置され、日本獣医師会が小動物分野における認定分野に意欲を示しているが、あまりに小動物では認定医や専門医、そもそもその違い自体がわかりにくいのにあえて推進するならば、しっかりとした権威あるものにしてほしいという願望を持つとともに認定ビジネスにならないようにしっかり観察する必要も感じた。

また農場管理獣医師や災害獣医療認定獣医師の確立もしっかりと構築してもらいたいし、ゆくゆくは日獣会員の構成比率を勘案して将来が女性主体の業界になると予測してるなら、活躍推進も男性職場男性社会の意識改革も期待したいと思った。

日獣理事退任に当たって

会長理事 田中尚秋

令和5年6月27日(火)、東京都港区元赤坂にある明治記念館において開催された第80回日本獣医師会(以下「日獣」)通常総会をもって理事の任期が終わりましたので、2年間の経験を経て感じたこと、今後のことに関する思い等を若干述べさせていただきますと存じます。

令和3年6月23日(水)開催された第78回日獣通常総会及び引き続き開催された令和3年度第3回理事会(小職はいずれも山口県獣医師会館にてZoomにより出席)において中国地区理事として選任・選定され、日獣理事としての役務が始まりました。中国地区獣医師会連合会では、日獣の役職、各種検討委員会委員、講習会の開催等を5県の輪番制にしており、担当県になれば否応なくその役務に相応しい方をその獣医師会から選出することになります。日獣理事に関しては、継続審議した懸案事項等の理解が一旦途切れてしまう(新理事になった方がそれまでの経緯等を再確認しないとイケない)等、引き続いて理事をされている方との差異が生じる等のデメリットはありますが、任期を終えるたびにその都度5県で協議しなくても良い等のメリットもあり、たいへん効率的で優れた方法であると先達の先生方に感謝しております。

ところで、私の担当が始まった令和3年度は、まだ新型コロナウイルス感染症の第4波流行による緊急事態宣言が出されるなど、蔓延防止について重点措置が図られていた時期であり、通常総会も前年度に引き続き来賓、賛助会員等の出席はなく会員構成獣医師(55地方会の議決権行使者)のみの出席(ほとんどの獣医師会がWeb出席)で行われました。東京オリンピック開催に向けた対策等で喧々譁々の意見が飛び交っていた時期でもあります。日獣の藏内勇夫会長が令和2年10月、アジア獣医師会連合(FAVA)の副会長に就任され、次期FAVA大会で会長就任が内定しており、福岡県では、国内初の「ワンヘルス推進基本条例」が令和3年1月5日に公布・施行されるなど、人獣共通感染症対策としてワンヘルスの重要性が深く認識され始めていました。そういう情勢の中、令和4年11月11日(金)から13日(日)の3日間、ヒルトン福岡シーホークを会場に第21回FAVA大会・第40回日獣獣医学術学会年次大会(令和4年度)が開催され、アジア・オセアニア23カ国・

地域からの代表等世界各国からの参加者を含め約2,500名が集った盛大なイベントでありました。11日の開会式では、岸田文雄内閣総理大臣及び林芳正外務大臣からのビデオメッセージが寄せられ、また世界獣医師会(WVA)のラファエル・ラガンズ会長、服部誠太郎福岡県知事をはじめとした多くのご来賓の出席がありました。さらに、12日のガラディナーには林外務大臣をはじめ多くの閣僚が出席されるなど国の中枢の皆様にもワンヘルスを深く認識していただいたことを実感できました。このことが後に「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」設立等につながったものと思われます。「アジアからのワンヘルスアプローチ」をテーマとして開催されただけあって、ワンヘルスに対する理解・普及が一挙に高まった大会であったと感じています。このような時代の節目ともいえる世界的な行事に日獣執行部の一員として参加できたことはこの上ない喜びであります。

次に、印象に残っていることは、任期中に長年の懸案であった二つの法案、「愛玩動物看護師法」(令和4年5月1日)と販売用犬猫に対するマイクロチップ(以下「MC」)装着・登録の義務化が規定された「改正動物愛護管理法」(令和4年6月1日)が施行されたことであります。

理事に選任された第78回通常総会の席上、MCの指定登録機関として唯一日獣が指定されたという発表があり、当時は大いに喜んだものでありました。ところが、その後の理事会で応募に至る経緯等が明らかになるにつれ、全く耳目を疑うような事態となっていったことは残念でなりません。このことについては既に何度も見解を述べさせていただいているので、さらには申しませんが、日獣は猛省していただきたいと思うものです(コロナ禍で余裕がなかったのかもしれないが、応募要領等、根基を明確にして協議を進めるべきであった)。現在この制度の是正に向けて境専務理事をはじめとして事務局は必死の努力をしておられるので、皆様方過重労働にならないよう体調管理に留意しながら進めさせていただきたいと心から願っているところです。日獣の今後ますますのご発展をお祈りしながら2年間大変お世話になったことの感謝を申し上げ退任に当たっての挨拶とさせていただきます。

産業動物部会・獣医公衆衛生部会合同委員会開催報告

常務理事 酒 井 理

令和5年7月11日(火)、県獣医師会館2階会議室において、産業動物部会と獣医公衆衛生部会の合同委員会が開催されました。

今年度の事業計画やそれぞれの部会の講習会のテーマ等について、協議していただきました。

その結果、いずれも公開講座として、次のとおり開催準備を進めることになりました。詳細な日程が決まり次第、本会会報やホームページにより、参加者を募集します。

○産業動物講習会

開催日：令和5年9月23日(土・祝日)午後

会 場：KDDI 維新ホール

講 師：大山乳業農業協同組合 酪農指導部指導課
松井秋子 先生

○獣医公衆衛生講習会(中国地区獣医師会連合会主催)

開催日：令和5年11月19日(日)午後

会 場：山口グランドホテル

講 師：(公社)福岡県獣医師会 副会長
今村和彦 先生

第1回小動物部会委員会開催のご報告

小動物部会長 岩柳支部 大黒屋 勉
(みさお動物病院)

2023年7月13日(木)に開催されました、令和5年度第1回小動物部会委員会についてご報告させていただきます。当日は12名中11名の各支部小動物部会委員の先生方にご出席頂きました。

本部会委員会では、「令和5年度事業計画について」、「狂犬病予防注射について」、「チーム医療づくりについて」、「講習会について」の4議題について意見が交わされました。

令和5年度の集合注射実施頭数は、全ての支部で減少しており、前年に比べ1,342頭との報告がありました。この10年間では1万2千頭という大幅な減少となっている現状に対し、今年度は、ポスターや県公報紙等への掲載に加え、FM山口の協力を得て、ラジオを活用した新たな啓発が実施されました。このように注射実施率の向上のため更なる施策を検討および実施して行くことが確認されました。

チーム医療体制づくりについては、新たに誕生し

た愛玩動物看護師との関わりについて議論されました。小動物部会では動物看護師向けの講習会を開催するなど、これまでも施策を実施してきましたが、実際のニーズについては会員の皆様のご意見をうかがう必要があるのではないかという意見が出されました。

その他、本年度の小動物講習会については例年通り、年明けに2回の講習会を行うこととなりました。講義の内容については決定し次第、周知させていただきますと存じます。

本会で議論された各議題はいずれも重要な問題であり、部会において今後も継続して審議して行くことを確認し閉会となりました。会員の皆様におかれましては今後とも小動物部会の活動にご意見を賜り、部会の運営にご協力頂きます様、宜しくお申しあげます。

役員挨拶

理事重任に当たって



2期目の就任となりました。1期目は、当時の就任あいさつとおおり、本会と支部との橋渡しが出来ればと岩国からの山口へ向かう車中にて直

前理事の河上先生と本会の懸案事項について話をする傍ら、不明なところは理事会で質問させていただきました。昨年は、獣医学術中国地区学会のお手伝いや会館建設に係る事項については支部会員の以前から不安に感じている事項について質問させていただき、納得できるところまで検討していただきました。

2期目の今年は、これまで様々な観点から検討され

岩柳支部 後藤 孝一

てきた獣医師会館建設に結論を出す大事な年になりそうです。今後は、これまでどおり新理事となられた森崎次郎先生と車中にて話をしながら支部との調整役として頑張りたいと思っています。

さて、年齢も70歳近くなると持病の心疾患をはじめ様々な病魔が身に降りかかってくると思います。人にもよりますが、平均寿命と健康寿命とを出来るだけ短くするため、そろそろお引き受けしている仕事も辞め頃と実感していますので、支部の若い会員の皆様にはどうぞよろしくお願いたします。

理事重任に当たって



この度、2期目の理事に就任しました松延（職場では旧姓の國吉）です。

前期理事を振り返りますと、昨年9月に山口で開催された中国地区獣医師大会・獣医学術中国地区大会で大会宣言をさせていただいたことは良い経験となりました。

また、同年11月に福岡で開催された第21回アジア獣医師会連合大会・第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会はコロナが多少落ちついたこともあり、外国の参加者の姿も見られ、グローバルな大会に参加できたことは印象深く残っています。振る舞いの八女茶がとても美味しかったのも思い出されます。

さて、私は、現在、県農林総合技術センター畜産

美祢支部 松延 佐知子

（農林総合技術センター畜産技術部）

技術部で、日々、牛や鶏の家畜が身近にいる環境の中で過ごしています。

昨今は、動物福祉が注目され、6月下旬、農林水産省より家畜別にアニマルウェルフェアの指針最終案が公表され、本会報が発行される頃には通知がされているかと思えます。6月20日に開催された全国畜産関係場所長会議でも話題となり、農林水産省担当者と活発な意見交換がされたところで、家畜を取り巻く環境は情勢に併せ変遷していくと感じています。

気持ちも新たに、微力ながら本会運営のお役に立てるよう努力していきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いたします。

監事重任に当たって



この度、令和5年度定時総会での承認をいただき、監事に再任されました。2年間の監事職の間、都合のつく限り理事会には出席させていただきました

山口支部 白銀 政利

（（公財）山口県生活衛生営業指導センター）

たが、それでも年に1～2回は本業の都合で出席できない日がありました。別の業務をもちながら役員を務めることの難しさを痛感しています。

さて、前回就任時（R3.6月）、私は県を退職し、

同年4月に公益財団法人職員として再就職したことを書かせていただきました。その職場で、私は、ある一般社団法人の事務を担当することとなり、同法人の専務理事（業務担当理事）に就任しました。ここでは、財団業務の傍ら一般社団の事務も行っており、数分刻みで仕事をスイッチしながらこなしていくという多忙な日々を過ごしています。ここ数年間は、私の所属する公益財団の年間予算を大きく上回る予算事業を執行している関係で、多忙さが増えています。一担当であり、決裁者でもあるという立場から、関連組合の理事長との調整から、資料作成、印刷・封筒詰め・発送といった些末な事務まで一人でこなしている現状です。

しかし、生来の飽きやすいという性格からか、前例踏襲の業務が嫌（眠くなる）で、毎年度、何らかの改変・工夫を加え、自分の目指す少しでも上位のものを短時間でできないかと、常に考えて仕事をしています。多忙を極めますが、一人ですべての事務を完結できる環境（一人PDCA cycle）が、逆にモチベーションアップにつながっているのではと感じています。

こうした思いを頭の片隅に置きつつ、2期目を迎える監事の業務に真摯に取り組み、本職の法人事務との比較の中で、気づきや建設的な改善意見を出していきたいと考えています。引き続き、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜れば、幸に存じます。

監事重任に当たって



この度、6月11日の定時総会において監事に承認されました、3期目の水原です。

本会の発展と会員皆様のために、引き続き、微力ながらお手伝いさせていただきます。

普段は、週に1日程度、公益社団法人に非常勤としてお世話になっています。県庁退職後5年目になりますが、ゆとりのある幸せな余生を送らせていただいております。

山口支部 水原 孝之

ります。ただ、中心暗点で視力が低下しており、ご挨拶などいろいろなシーンで失礼がありましたら、ご容赦願います。

今後とも、「人と動物による健全かつ豊かな生活」と「公共福祉の増進に寄与」を念頭に、会員の皆様と協力し、より充実した会の運営を実現するために尽力してまいります。

どうぞよろしく申し上げます。

監事重任に当たって



この度、令和5年度定時総会において承認いただき、監事として就任することになりました。監事

としては、3期目となりますが、引き続き就任された水原監事、白銀監事と共に、会員の皆様方の御支援、御協力をいただきながら監事の責務を全うしたいと思います。

さて、新型コロナウイルス感染の広がりが落ち着きを見せるとともに、対面で獣医師会行事が開催されるようになったことは、大変喜ばしいことであります。コロナ禍中では、リモートという新しいコミュニケーションツールを取り入れての会議や研修会、学会などが開催されました。事務局や関係者の

山口支部 柳澤 郁成

（山口農林水産事務所畜産部）

方々には、準備や運営など大変な御苦労があったかと思いますが、やはり、対面で語り合うことは相互の交流や親睦を深めるために不可欠と改めて思う次第です。

これからも、本会の活動、とりわけ学会など学術分野での活動に会員が積極的に参加し、また幅広い世代にも魅力ある山口県獣医師会にするため、田中会長をはじめ理事の皆様とともに、監事として微力ながら貢献できればと思っています。

私自身、知識や経験がまだまだ浅く、これからも皆様から御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

リレー随筆

県庁支部 鳴重 寿人

(山口県畜産振興課)

暑い日が続いていますね。隣の席の大山さんからバトンを受取りました山口県庁畜産振興課の鳴重です。入庁から11年目となり、気づけば、4カ所目の職場となりました。県庁勤務は初めてで慣れないことも多いですが、今後ともよろしくお祈いします。

さて、このリレー随筆は3回目となりますが、過去2回、将棋のことについて書かせていただきました。そして今回も(本当にネタっぽいネタがないので)将棋のことについて触れていきます。2019年までは、将棋大会に1年に2回～3回程度出場していましたが、コロナ禍で軒並み大会は中止。と同時にモチベーションも低下、将棋アプリ(知らない人たちとネット対戦)を続けていくも・・・頑張っても伸びないレーティング(強さを示す指標)にもはやここまでか・・・といった状況。

そんな中、(前々から存在は聞いたことあったけど)新たなコンテンツを発見!それは詰将棋大会。ただ時間内に詰将棋を解くだけの大会で、己との闘いということになりますが、直近の2019年大会では全国10会場で1400名!ほどの参加とプロ・アマチュア問わずたくさんの詰将棋自慢が参加されているようです。そもそも、作戦巧者の序盤より詰む詰まないを争う終盤タイプであったので、この方が上位にいけるよ

うな気がしてきました。(調べてみると2020年以降は開催されていませんが、2015年～2019年の優勝は藤井聡太名人)早速、過去間にチャレンジしてみるも、本当に難しい。10問しかないのに1～2問解けるかどうか。これでは上位入賞なんて、夢のまた夢。じっくり腰を据えて取り組んでいく必要があります。子供の世話もあるので、まとまった時間をとることが難しくなりつつあるけど、合間に解きながら、実力向上に励みたいと思います。

さて、暑さがまだまだ続き、夏バテしそうになりますが、みなさま引き続き体調に気を付けていきましょう。

それでは、次にバトンを渡すのは、同じ北里大学出身であり長門農林水産事務所畜産部の佐野先生です。独特の感性で楽しませてくれるので、このリレー随筆が楽しみです。よろしくお祈い致します。

画像説明:

3歳になった子供が赤い馬をみてエビって言っていました。なんとなくそう見える・・・将棋を理解してくれる日を楽しみに待ちたいと思います。



今年度からのチャレンジについて

豊浦支部 前田 翔一

(下関農林事務所畜産部)

西部家畜保健衛生所の前田です。暑い日が続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。私はこの4月に山口県庁畜産振興課から西部家畜保健衛生所へ異動となり、通勤距離が短くなったことで時間に余裕が出来たので様々なことに取り組んでいます。今回はその取り組みのうちのいくつかを紹介させていただきます。

1つ目は運動です。デスクワークメインの県庁生活で落ちてしまった体力を取り戻し、激増してしまった体重を減らすために取り組んでいます。運動については、過去にもNintendo-SwitchのリングフィットアドベンチャーやYouTubeのトレーニング動画など様々なものにトライしてきましたが、私自身が飽き性で1つのことを長く続けるのが苦手なため、すべて長続きしませんでした。そのため、今回は余裕がある時はしっかりと体を動かし、疲れている時は腕立て伏せ10回だけでも良いので毎日体を動かすなど、内容は重視せずに継続するというところに重点

を置いて取り組んでおり、現時点では何とか1か月継続できています。

2つ目は料理です。これまでは時間のある土日ぐらいしか料理をすることが無かったのですが、今は毎日の夕食の準備をしています。最近は便利な献立のアプリやサイトも豊富なため、新しいレシピにチャレンジすることを楽しんでおります。また、これまでは家に帰っても仕事のことを考えていることが多かったのですが、無心で料理に取り組むことで上手く意識の切り替えができています。

3つ目はウサギです。2年ほど前から飼っているのですがあまり自分が遊んであげることが出来ていなかったため、毎日一緒に遊んでいます。最初は撫でるのも一苦勞だったのですが、徐々に慣れてきて最近は自分から頭を出してくれるようになりました。これからも日々の変化に注視して過ごしていきたいと思っています。

お知らせ

第2回愛玩動物看護師国家試験について

第2回愛玩動物看護師国家試験が、次のとおり計画されていますので、お知らせします。

- 試験日：令和6年2月18日(日)
 - 試験地：北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、福岡県
 - 受験申込：令和5年11月6日(月)～11月30日(木)
- ※試験専用コールセンター 03-6808-9818

お知らせ

令和5年8月の主な行事

- 8月3日 ・第2回学会運営委員会（県獣会館）
- 8月22日 ・岩国市和牛共進会（岩国市）
- 8月23日 ・阿武萩和牛共進会（萩市）
- 8月23日 ・山口市畜産共進会和牛共進会（山口市）
- 8月25日 ・下関市畜産共進会（下関市）
- 8月27日 ・山口県獣医学会（防長苑）
- 8月31日 ・美祢畜産共進会（美祢市）

記事の訂正

会報第746号令和5年7月に投稿していただいた長北支部 横山明宏先生の所属を誤っていました。お詫びして訂正します。

12ページ3行目 誤：「長門農林水産事務所」 → 正：「萩農林水産事務所」

事務局だより

- 7月6日 ・山口県公衆衛生協会理事会・評議員会・総会（県総合保健会館）
- 7月11日 ・産業動物部会獣医公衆衛生部会合同委員会（県獣会館）
- 7月13日 ・第1回小動物部会委員会（県獣会館）
- 7月21日 ・全国獣医師会事務・事業推進会議（東京都）
- 7月24日 ・山口県動物由来感染症情報関連体制整備検討会（県庁）
- 7月25日 ・会報編集委員会（県獣会館）
- 7月26日 ・周南公立大学協議（周南公立大学）
- 7月30日 ・災害対策セミナー（岡山市）
- 7月13日、27日 ・事業推進会議

次回編集委員会 8月22日(火) 13:30～

山口県獣医師会会報 第747号 令和5年8月10日（毎月1回発行）

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 豊川 剛

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷

地方獣医師会の
会員獣医師の皆さまへ

クレーム行為にお悩みの獣医師の皆さまには
強い味方がついてます!

獣医師賠償責任保険に**自動付帯**

クレーム対応相談サービス をご活用ください!!

もし

クレーム行為※により
診療が阻害されたら...

※クレーム行為とは、記名被保険者が日本国内で行った業務に対して、他人が被保険者(保険の補償を受けられる方)に暴行、脅迫、威力、セクシャルハラスメント、不退去、偽計、風説の流布を行うことをいいます。



もし

SNS(GoogleクチコミやTwitter)に獣医師や動物病院の名誉を毀損するような悪質な書き込みをされたら...

もし

リスクを十分に説明して行った手術で、ミスはなかったのに、「勝手な処置をされた」「すべき治療をしなかった」とクレームを受けたら...

こういう場合に、お気軽にご相談することができます!!
多くの会員獣医師の皆さまにご利用いただいています。

専門相談窓口への無料相談サービス [受付時間] 平日の午前10時~午後6時

クレームコンシェルとは、クレーム行為に関するご相談窓口です。

クレームコンシェルサポートメンバーがクレームに関するご相談に対し、応対方法など解決に向けた各種アドバイスを実施し、クレームの速やかな解決を支援します。

※ご利用は本保険の被保険者のみとなります。

クレーム対応
無料相談サービス
の使い方

加入者証に記載の相談ダイヤルへお電話ください!!
(受付時間: 平日午前10時~午後6時)

保険契約者 **公益社団法人 日本獣医師会**

このご案内は概要です。詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 **株式会社安田システムサービス**

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1
新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝休)

引受保険会社 **損害保険ジャパン株式会社**

団体・公務開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL:03-3349-5402 FAX:03-6388-0161
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝休)

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は下記幹事代理店までご請求ください。
なお、携帯電話からもご請求いただけます。右のQRコードからアクセスしてください。

